

大阪インターナショナルチャーチ  
ジョセフ・トッティス牧師  
2012年6月24日

盲目の男と象の古いたとえ話は、あらゆる信仰が、神の真理の一部分しか現せていないことを例示するために用いられます。神について多くの理論があり、文化によってさまざまな神観があるのは確かです。ですが、あらゆる信仰が神の真理の一部分しか現せていないというのは本当でしょうか？

盲目の男と象のたとえ話は、いろんなバージョンのものを聞かれたことがあるかもしれません。盲目の男は象の身体を手で確認します。そして触感に頼って、描写します。でも、全体像の一部しか捉えることができません。これらの盲目の男が世界のあらゆる宗教を現していると言われていています。そして、このたとえ話では、象が神様というわけです。

でも、それは誰にとってでしょうか？それは、このたとえ話がどのように伝えられるかによります。それは時に、王様や賢者や仲介者といった、象の全体像を捉えることができると思われている人たちにとってということになります。

それでは、誰が神様の全体像を見ることができるのでしょうか？  
イエスは言われます。

ヨハネ 1:18 いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の（\*）神が、神を説き明かされたのである。

クリスチャンである私たちは、盲目ではありません。私たちが知っている神様は部分的ではないはずです。私たちは、神様の性質を想像しているだけではないのです。イエス・キリストは目に見えない神様を完全に表したのだからです。

コロサイ 1:15 御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより先に生まれた方です。

イエスさまの人生を学ぶことによって、私たちは神様の全体像を知ることができます。イエスさまの中に、私たちは神様の愛、忍耐、優しさ、柔和さ、謙遜さ、慈しみ、知恵、力、正義、権威、主権を知るからです。（まだまだ言うことができますが・・・）

ヨハネ 14:8 ピリポはイエスに言った。「主よ、**私たちに父を見せてください**。そうすれば満足します。」

ヨハネ 14:9 イエスは彼に言われた。「ピリポ。こんなに長い間あなたがたといっしょにいるのに、あなたはわたしを知らなかったのですか。**わたしを見た者は、父を見たのです**。どうしてあなたは、『**私たちに父を見せてください**』と言うのですか。

**イエス様を見た者は、父なる神様を見たのです！**

神様とはどんなお方か知りたくないですか？  
神でおられるイエスさまを見てください。

聖書の別の箇所を見てみましょう。

ヨハネ 10:24 それでユダヤ人たちは、イエスを取り囲んで言った。「あなたは、いつまで私たちに気をもませるのですか。もしあなたが（\*）キリストなら、はっきりとそう言ってください。」

30節では、イエスさまはユダヤ人たちにこう言われます。

ヨハネ 10:30 「わたしと父とは一つです。」

なんと簡潔な答えではないでしょうか？

イエス様は、「すべての道は神様に通じる」という福音は宣べ伝えられませんでした。

そうではなくて、

ヨハネ 14:6 イエスは彼に言われた。「**わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。**

イエス様はほかの宗教は認められませんでした。

キリストは、「わたしは道の一つであり」とは言われず、「わたしが道であり」と言われたのです。

コロサイ 1:15 御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより**先に生まれた**方です。

エホバの証人のような異端は、「生まれた」ということはイエス様も作られたもので、神様ではないという言い方をします。

でもここでの「**生まれる**」にあたるギリシア語は「**Prototokos**」です。

この語は、時間や階級において優先順位が先であることを意味します。

この語は、キリストが時間軸において初めて作られたものであることを意味するものではありません。

ヘブル文化における「先に生まれた」という語の意味するところは、長子ということではありません。

イザヤ、ヤコブ、ヨセフの息子エフライムは家族の中で**2番目**に生まれました。ですが、先祖たちの家系を継いだという意味では、彼らが長子の役割を果たしました。

「先に生まれた」というのは、誕生の順番というよりは、主権や権威を意味するのです。

ファーストレディーというのは、アメリカの大統領夫人に与えられる称号です。現在は**ミシェル・オバマ**さんですね。

でもこれは、彼女が最初に生まれた女性という意味ではないですよ。

違います。

単に、彼女は米国大統領夫人だから、卓越性と優先性をもっているというだけです。

ですから、イエス様が「先に生まれた」というのも、彼が一番最初に生まれたとか作られたということではありません。

違います。だって、イエス様は神様なのですから。昔も今も、とこしえに。

「先に生まれた」ということで、優先性、卓越性を表現しているのです。

コロサイ 1:16 なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。

物質的なものもそうでないものも、また見えるものも見えないものも、イエス様が造られました。

ヨハネ 1:1 初めに、**ことば**があった。ことばは神とともにあった。**ことばは神であった。**

私たちは、この箇所「ことば」はイエス・キリストを指すことを知っています。**14節**を見てみましょう。

ヨハネ 1:14 ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

また、

ヨハネ 1:2 この方は、初めに神とともにおられた。

ヨハネ 1:3 すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたもの一つもない。

パウロもこう語っています。  
コロサイ 1:16b **万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。**

ここに、人生を理解する鍵があります。  
どうぞ見逃さないでください。

**万物は、(私たちを含む)  
御子によって造られ、  
御子のために造られたのです。**

私たちは本当に「御子のために」造られたと実感しているでしょうか？  
私たちは今日も息を与えられ、生きています。  
誰のために？  
私たちのため？  
違います！  
御子のためです。  
御子のために造られたのです。  
今日という日を私たちは当然と思いがちですが、今日という日も神様によって造られました。

詩篇 118:24 これは、【主】が設けられた日である。この日を楽しみ喜ぼう。  
あなたは楽しみ喜んでいますか？

今日という日を感謝していますか？ 喜んで生きていますか？  
私たちはそうあるべきなのです。

黙示録 4:11 「主よ。われらの神よ。あなたは、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方です。あなたは万物を創造し、あなたのみこころゆえに、万物は存在し、また創造されたのですから。」

私たちが存在し、創造されたのは、ひとえに神様の意思によるものだからです。

詩篇 139:13 それはあなたが私の内臓を造り、母の胎のうちで私を組み立てられたからです。

詩篇 139:14 私は感謝します。あなたは私に、奇しいことをなさって恐ろしいほどです。私のたましいは、それをよく知っています。

私たちは神様のために造られたとわかっていても、  
多くの人がそのことに対して注意を払っていません。  
神様を崇めようとしません。  
神様の代わりに、カッコいい男の子たちのバンドを崇める人もいます。  
ある人はスポーツチームの、ある人は自分の手による仕事を崇めます。

時にクリスチャンである私たちも、  
こうしたくはないよ、  
今日は教会に行きたくない、  
調子がいいふりなんてしたくないな、  
今日は神様をほめたたえる気分じゃないよと思ったりします。

神様のために人生を生きるなんて、したくないよ！  
私自身の人生を生きたいよ！

行きたいところに行かせてくれよ！  
したいことをさせてくれよ！

でも実際のところ、多くの方がすでに気づいていると思いますが、自分のために生きる人生には本当の幸福や充足がありません。

そして、多くの場合には孤独と空虚、気分の落ち込みを経験し、ただ上を見上げるしかできなくなります。

ぜひ上を見上げてください。イエス様を見てください。  
神様を崇めなかったことをまず許していただけてください。  
そして、神様とともに、神様のために生きる人生を始めてください。

ヤコブ 4:8 神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。罪ある人たち。手を洗いよめなさい。二心の人たち。心を清くしなさい。

私たちは自分自身やお互い、またコントロールしようのないものから、フォーカスをイエス様に戻すべきです。

そこにしか、私たちの人生の目的や意味、充足感はありません。  
なぜなら、そのように私たちは創造されているからです。  
イエス様と生き、イエス様のために生きる。

コロ 1:17 御子はすべてのものよりも先におられ、すべてのものは御子によって支えられています。新共同訳

ここで、もし御子がすべてのものよりも先におられたのなら、御子は造られたものではないということに気づくでしょう。  
彼はすべてのものより先におられました。  
御子はこれまでも、これからも、父なる神様と共におられる方なのです。

もう1つの点、「すべてのものは御子によって支えられています」を見てみましょう。

ヘブル 11:3 信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、したがって、見えるものが目に見えるものからできたのではないことを悟るのです。

皆さんご存じのとおり、物質は陽子を含む原子核と電子から成る原子によってつくられ、それはまるで、小さな太陽系のようなものです。  
原子が面白いのは、原子核が科学的な謎をはらんでいることです。  
原子核は陽子の群れでできています。  
陽子はプラスの電気を帯びていて、クーロンの法則により、離れようとしています。

同極の磁石はくっつけようとしてもお互い反発し、離れようとするので、くっつけるのが難しいですね。  
同極の磁石をくっつけようとするには力がいらいます。  
力がいらいますし、それでも離れようとするのを感じます。

それでは、これらの陽子をひきつけているのは何でしょうか？

科学には確かなことはわかりません。

でも、ある人は、それは「強い核の力」ではないか、と言います。

そうです！

この「強い核の力」が、宇宙を一つにまとめているものです。  
なぜそれほどまでに強い力あるのでしょうか？

または、誰がそれほどまでに強い力をもっているのか？と聞いた方がいいかもしれません。

コロサイ 1:17 御子はすべてのものよりも先におられ、すべてのものは御子によって支えられています。(新共同訳)

もしイエス様が束ねているものを離されたら、何が起こるでしょう？

2ペテロ 3:10 しかし、主の日は、盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、天の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。

預言された地球の終わりは、私には核分裂のように聞こえます。

イエス様がそうなされたら、すべてのものが焼き尽くされます。

2ペテロ 3:11 このように、これらのものはみな、くずれ落ちるものだとすれば、あなたがたは、どれほど聖い生き方をする敬虔な人でなければならないことでしょうか。

すべてのものが焼き尽くされるということを覚えておいてください。

私たちはどのような態度を示せばいいのでしょうか？

イエス様が文字通り私たちを支えてくださっていることを覚えておきましょう。

感謝の念を持ちましょう。

コロサイ 1:18 また、御子はそのからだである教会のかしらです。御子は初めであり、死者の中から最初に生まれた方です。こうして、ご自身がすべてのことにおいて、第一のものとなられたのです。

コロサイ 1:19 なぜなら、神はみこころによって、満ち満ちた神の本質を御子のうちに宿らせ、

コロサイ 1:20 その十字架の血によって平和をつくり、御子によって万物を、御子のために和解させてくださったからです。地にあるものも天にあるものも、ただ御子によって和解させてくださったのです。

エデンの園で人が神様に従わなかった時から、人間は神様に反逆し、戦争状態にあります。

霊的な戦いは続いており、私たちの中のアダムの性質が神の主権に反抗しようとしています。

私たちの性質の何かが、神様に反抗しようとするのです。

神様に服従しようせず、神様の律法に逆らいます。

このように、人間は神様と戦争状態にあります。

もしあなたが神様と戦争状態なら、平穏な気持ちでいられるはずがありません。

パウロは私たちの肉の思いが聖霊と闘うと語っています。

そして、この戦争が続く限り、

イザヤ 48:22 「悪者どもには**平安がない**」と【主】は仰せられる。

私たちの罪のためにこの戦争があり、平穏がないのです。

ですが、イエス様が十字架での血潮を通して平和を作られました。

彼が平和への道をつくられたのです。

私たちの罪を取り去り、神様のもとへ連れて行ってくださったのはイエス様なのです。

そして、神様に罪の許しを請うとき、イエスキリストの血潮が私たちを清めてくれます。

1ヨハネ 1:9 もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

そして、突然、そこには平和が訪れます。  
戦争は終わり、これ以上神様と闘う必要がないのです。

それは、神様がしてほしいことをいつもしているということではありません。  
単にもう神様と闘ってはならず、神様から走り去ってはいないということです。

それが、造られた目的のために生きる最初のステップです。

コロサイ 1:21 あなたがたも、かつては神を離れ、心において敵となって、悪い行いの中にあっただけですが  
コロサイ 1:22 今は神は、御子の肉のからだにおいて、しかもその死によって、あなたがたをご自分と和解させてくださいました。それはあなたがたを、聖く、傷なく、非難されるところのない者として御前に立たせてくださるためでした。

なんという日でしょうか！

イエス様があなたを父なる神と和解させるとは！

父なる神のもとへ私を連れていき、「こちらはジョセフです」と言うのです。

彼を見てください。彼は聖く、傷なく、非難されるところのない者です。

今は想像できないかもしれません。

でもまだ進行中です。

あなたもそうではありませんか？

私たちは、

ピリピ 1:6 あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は堅く信じているのです。

だから私たちは、イエス様が始め、終わらせるということを知る必要があります。イエス様は私たちのようではありません。神様は終わらせられないような計画を始めようとなさいません。

神様が私の人生の中で始められたことですから、必ず完成させてくださると自信があります。

ヘブル人への手紙で、イエスはこう呼ばれました。

ヘブル 12:2a 信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。

そして、

コロサイ 1:23 ただし、あなたがたは、しっかりとした土台の上に堅く立って、すでに聞いた福音の望みからはずれることなく、信仰に踏みとどまらなければなりません。この福音は、天の下のすべての造られたものに宣べ伝えられているのであって、このパウロはそれに仕える者となったのです。

いかにして私たちは信仰にとどまることができるのでしょうか？

1. しっかりとした土台の上に堅く立って、はずれることなく

何からですか？ 「すでに聞いた福音の望みから」です。

私たちの信仰が神の言葉によって支えられることが大切です。

なぜ人は信仰をもてないのでしょうか？  
単に神の言葉に堅く立って根ざしていないからです。

ローマ 10:1 兄弟たち。私が心の望みとし、また彼らのために神に願い求めているのは、彼らの救われることです。

ダン牧師は、もし日々聖書を読むことをしていないなら、是非始めてくださいと言われました。  
なぜですか？  
なぜなら、

コロサイ 1:23 ただし、あなたがたは、しっかりとした土台の上に堅く立って、すでに聞いた福音の望みからはずれることなく、信仰に踏みとどまらなければなりません。この福音は、天の下のすべての造られたものに宣べ伝えられているのであって、このパウロはそれに仕える者となったのです。

ペンテコステから約 30 年後、パウロは福音は天の下のすべての造られたものに宣べ伝えられていると宣言しました。

彼らは迫害にさらされながら宣教に励んだことを思い出さないとはいけません。ヨハネ以外の使徒は皆殉教の死をとげました。

ですから、当時宣教は簡単なことではなく、交通の手段や今のようなメディアもありませんでした。ただ彼らが持っていたのは、人生の中でまた人生を通して働かれる聖霊の力だったのです。

コロサイ 1:24 ですから、私は、あなたがたのために受ける苦しみを喜びとしています。そして、キリストのからだのために、私の身をもって、キリストの苦しみの欠けたところを（\*）満たしているのです。キリストのからだとは、教会のことです。

コロサイ 1:25 私は、あなたがたのために神からゆだねられた務めに従って、教会に仕える者となりました。神のことばを余すところなく伝えるためです。

コロサイ 1:26 これは、多くの世代にわたって隠されていて、いま神の聖徒たちに現された奥義なのです。

コロサイ 1:27 神は聖徒たちに、この奥義が異邦人の間にあってどのように栄光に富んだものであるかを、知らせたいと思われたのです。この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです。

コロサイ 1:28 私たちは、このキリストを宣べ伝え、知恵を尽くして、あらゆる人を戒め、あらゆる人を教えています。それは、すべての人を、キリストにある成人として立たせるためです。

コロサイ 1:29 このために、私もまた、自分のうちに力強く働くキリストの力によって、労苦しながら奮闘しています。

24 節でパウロはこう言いました。

「私は、あなたがたのために受ける苦しみを喜びとしています。」

パウロはキリストの福音を伝えるために受けた代償や、耐えねばならなかったことを部分的に教えてくれました。

聖書を見ていきましょう。

2 コリント 11:23 彼らはキリストのしもべですか。私は狂気したように言いますが、私は彼ら以上にそうなのです。私の労苦は彼らよりも多く、牢に入れられたことも多く、また、むち打たれたことは数えきれず、死に直面したこともしばしばでした。

2 コリント 11:24 ユダヤ人から三十九のむちを受けたことが五度、

2 コリント 11:25 むちで打たれたことが三度、石で打たれたことが一度、難船したことが三度あり、一昼夜、海上を漂ったこともあります。

2 コリント 11:26 幾度も旅をし、川の難、盗賊の難、同国民から受ける難、異邦人から受ける難、都市の難、荒野の難、海上の難、にせ兄弟の難に会い、

2 コリント 11:27 労し苦しみ、たびたび眠られぬ夜を過ごし、飢え渴き、しばしば食べ物もなく、寒さに凍え、裸でいたこともありました。

2 コリント 11:28 このような外から来ることのほかに、日々私に押しかかるすべての教会への心づかいがあります。

それでも、私たちは問題があると思うのです！

正直に言うと、パウロが耐え忍んだことを思うと、自分の問題はなんてことないと恥ずかしくなります。

そしてこう思うのです。

パウロはどうして耐えられたんだろう？

続けられたのはどうして？

物事がうまくいかない時、どうやって正気を保っていたのだろう。

パウロは秘訣を教えてください。

2 コリント 5:14a というのは、キリストの愛が私たちを**取り囲んでいる**からです。

**Compels (or constraineth KJV) (取り囲んでいる)**

はギリシャ語で

**sunecw sunecho {soon-ekh'-o}**です。

意味は、

- 1) こわれないうる  
1 a) 粉々になったり、何かがばらばらになるといけないから、まとまる。
- 2) 強制や締め付けでまとまる  
2a) 手で押さえてまとめる

これらの定義から、

「粉々にならないように、キリストの愛によってまとまっている。」ということが出来ます。

パウロはイエス様について、先になんと言っていたのでしょうか？

コロサイ 1:17 御子はすべてのものよりも先におられ、すべてのものは御子によって支えられています。(新共同訳)

ここにはあなたも私も含まれています。

愛の力で神様は私たちをまとめてくださっています。

ときどき人生がめちゃくちゃになっていると感じますか？

あなたの人生をイエスキリストの愛の手にゆだね、あなたを1つにさせてください。パウロを神様が支えたように。あなたが粉々にならないように。

祈りましょう。